

進路だより vol.5

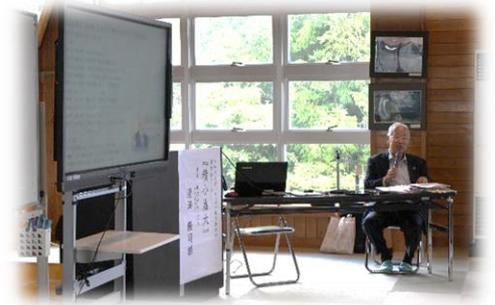
小林中学校進路指導部

R6.10.1

☆ キャリア教育講演会を通して感じたこと



9月24日（火）に、日光市瀬尾に本社があるファブリックやインテリア関係の会社「株式会社 ユザワ」の代表取締役 湯澤隆司様によるキャリア教育講演会を実施しましたが、みなさんは何を感じましたか？私は、「毎日の小さな努力の積み重ねが大きな成果につながる」という意味の演題「積小為大（せきしょうだい）」はもちろんのこと、それ以外にも印象に残ったことがありました。例えば…



- ・農家の長男・跡取りとして生まれたが、自ら応募して行ったアメリカでインテリアと出会い、転機となる。
→新しい環境に飛び込む勇気と自分がやりたいことを自ら探しに行く行動力！広い視野をもつ大切さ！
- ・様々な国を訪れ、壁紙やファブリックなど世界のインテリアを見て回った。
→聞いたり、写真で見たりするだけでなく、実際に自分の目で見ることでわかることがある！感性を磨ける！
- ・会社を運営しながら、インテリア学校に通ったり、ホッケークラブの設立を行ったりしている。
→自分の利益だけではなく、お客様のため、地域のため、と他者に貢献する気持ちがある！奉仕の精神！

などです。みなさんが書いた感想からも少し紹介します。

- インテリアに興味をもって、起業するためにしっかりと勉強をして、人は、努力すれば大きな成果につながっていくのだと実感しました。（1年 ■■■■さん）
- お話を聴いて、新しい発見ができました。この世の中にはたくさん知らないことがあるのだとわかったら、わくわくしてきました。（1年 ■■■■さん）
- 私が印象に残ったのは、「辛さや困難をどうやって乗り越えてきたのか」という質問に対する答えです。これからの将来に活かせる内容だと感じました。（2年 ■■■■さん）
- アメリカへ行った時に知り合ったアメリカの青年たちから、『これからは「コンピュータ」「農業」「インテリア」の時代だ』と聞かされたことが人生の転機だと聞いて驚きました。（2年 ■■■■さん）
- 名前は知っていたけど、こんなにすごい会社だとは知りませんでした。大手企業と取引していて驚きました。日光にとっても有名な会社があると知れるよい機会になり、とても勉強になりました。（3年 ■■■■さん）
- 私が印象に残ったのは、人がまだやっていないことを率先してやっていることです。私は率先して行動に移した回数が少ないと思っているので、これから増やしていきたいです。（3年 ■■■■さん）
- 私がるほどな、と思ったことは、他国との関わりです。地域ごとにそれぞれの伝統があります。私も国とまでは言いませんが、他の地域と関わり、考えを深めたいと思います。（3年 ■■■■さん）
- とても印象に残ったのは「積小為大」の言葉です。とくに、小さな努力というところです。自分は今、受験に向けて勉強していて、この言葉を聞いて少しやる気ができました。（3年 ■■■■さん）

たくさんの学びがあったようですね。進路だより vol.1 にも書きましたが、将来どのような仕事に就くのか、中学校卒業後は何をするのか、今自分は何をしたらよいのか、そんな風に自分の人生について考えることが、「進路を考える」ということです。「君たちはどう生きるか」、これからも考えていきましょう。

